

# フレッシュ士業交流会報告

弁護士業務センター副委員長 清水 敏 (63期)

平成24年10月28日(日)日本橋のレストランにて午後3時~7時の4時間にわたって行われた弁護士業務センター主催の「フレッシュ士業交流会」、盛況のうちに幕を閉じたこのイベント、その名のとおり登録数年目の“フレッシュ”な士業約40名を集めた交流会です。

## 1 フレッシュ士業交流会の特徴

### (1) “フレッシュ”な参加者たち

士業交流会は数多く開催されておりますが、本交流会の参加者は開業して間もない“フレッシュ”な士業たち限定。“フレッシュ”な討論、交流に期待がもてます。

他方、弁業センター側の今回の開催担当者も“フレッシュ”(63期2名、64期1名)な面々。弁業センターは弁護士の職域を拡大することにより、社会の隅々まで法の支配を実現せんとする委員会です。このような職域拡大は、司法制度改革により増員された我々若手弁護士こそが任を負うつもりで、“フレッシュ”な陣営で今回の交流会を企画立案しました。

### 士業別参加者内訳

参加者総合計37名(＋主催者側弁護士4名)  
弁護士13名(61期2名、62期6名、63期4名、64期1名)、司法書士4名、公認会計士・公認会計士協会準会員9名、税理士・税理士有資格者3名、社労士・社労士有資格者6名、不動産鑑定士1名、事業再生士1名

### (2) グループディスカッションの実施

#### グループディスカッションのテーマ

テーマ#1

「士業連携でできること、士業連携で望むこと」

テーマ#2

「日本の産業再生のために何が必要か」

交流会では、懇親会の前に、グループディスカッションを取り入れて、名刺交換だけで完結しがちな一般的な士業交流会とは一線を画したものにしました。

討論の目的は、討論を通じて互いの懇親を深めることであり、具体的な事件を解決する際に行われる士業同士の模擬討論の場ともなります。

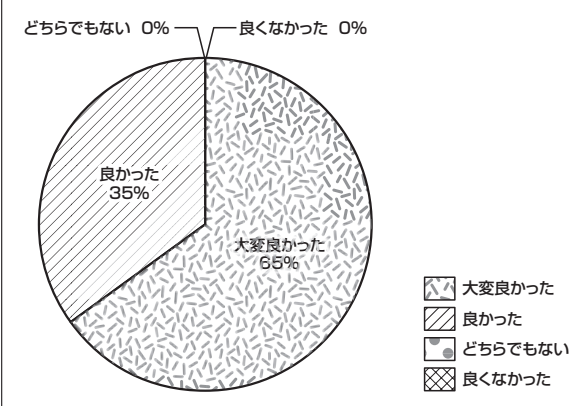
参加者は、初めこそボンと出された抽象的なテーマに面を食らったような様子もありましたが、次第に打ち解け、最後には、司会者からの「終了」の言葉が無視されるほど熱心な討論がなされました。

下記のアンケートの結果を見ても、良い刺激を受けたなど概ね好評であり、今回のイベントを盛り上げたのはこのグループディスカッションによるものと言えそうです。

## 2 フレッシュ士業交流会の結果 (アンケート結果)

交流会終了後、アンケートを書いていたできました。アンケートによると参加者からは、概ね好意的な意見を頂きました。

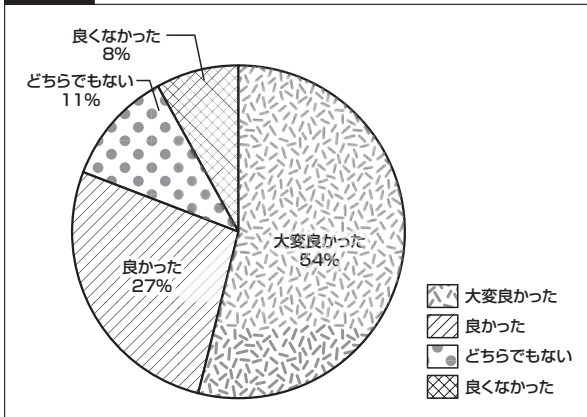
図表1 グループディスカッション1問目について



**【図表1 コメント】**

- 士業連携の機会をもっと多く作るべきと考えられる。また自分もこの機会を積極的に活かしたい。
- 他の士業の先生がどのような仕事をしているのか、少し知ることができました。
- もう少し時間が長いと良い。
- 共働の具体例を発表する場があれば、なおよかったです。
- 色々な士業の方の仕事の内容のイメージを掴むことができ良かったです。連携の前にお互いのサービス内容を共有することが必要であり、その一歩となったと思います。

**【図表2 グループディスカッション2問目について】**



**【図表2 コメント】**

- 弁護士と製造業の関係性が薄い為、ディスカッションがしにくかった。
- 個々の仕事や業種を離れた問題の設定がとてもよかったです。
- 様々な視点から意見が聞けてよかった。
- 各班いろいろな意見があり面白かったです。
- 士業ならではの意見はありませんでしたが、取り組みやすいテーマで多くの意見が出て、よい刺激になりました。

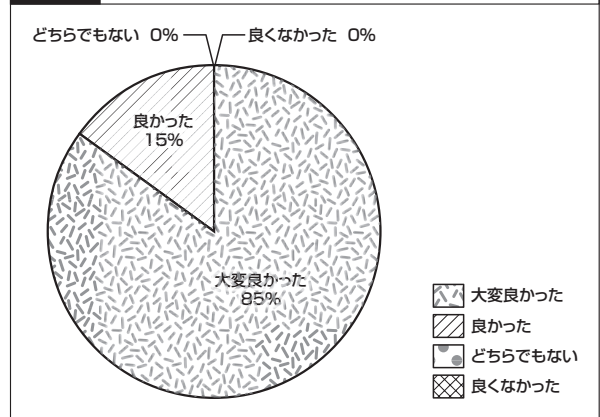
**【図表3 コメント】**

- 時間が短かったのもう少し長く設定して欲しい。
- 他士業の方々とお話しができてよかったです。ありがとうございました。
- 良い機会を頂きまして、今後の交流会につなげたいと思います。

**【その他コメント】**

- また是非よんでください!!!

**【図表3 懇親会について】**



- 他士業の先生とお会いしてお話しできる機会は貴重でした。ありがとうございました。
- 色々情報交換ができました。貴重な機会を有難うございました。
- また参加したいと思います。
- 士業の種類を増やしたいです。
- 楽しく、かつ勉強になる機会をありがとうございました。またよろしくお願ひ致します。
- 有意義な会でした。同様の取り組みを続けられればと考えます。

**3 弁護士業務センターの今後の取組み**

このフレッシュ士業交流会は毎年継続して開催する予定です。

また、単なる懇親会ではなく、他士業連携で解決ができる具体的な事案（例えば、相続、中小企業の海外進出支援など）を討論するスキルアップを目的とした交流会を実施することも検討しております。

今回、印象的であったのは、参加された若手他士業の先生から、「弁護士って具体的には何が出来るの?」という疑問を何度も聞きました。

一般の市民から「弁護士は敷居が高い」という声があると伺います。法律会計などの専門家である他士業の先生方ですら弁護士のイメージをつかめていないのが現状なのです。

弁護士業務センターでは、このような交流会を通して弁護士業務の理解を広めて、業務の改革を進めてまいります。

■